



一国の総理ともあろう者が第一野党指導者を 密室会談に誘い、だますとは！！



07/11/14

現国会は衆議院与党多数、参議院野党多数のねじれ状態で被災者援護法の如き超党派政策を除き、一本も法案成立にないと言う。7月参議院野党大勝後、危機感から連立構想が保守側から模索された。米国が保守自民に強いるテロ特措給油法を通せない安部は高位意思で首が飛び、急遽福田政権成立、そこで高位意思から授けられたが小沢を密室誘いの福田催眠腹話術の反則パンチ策、会談後、催眠術下で朦朧として連立提案を持ち帰った小沢だが、ここでも逆パンチ。表経緯だけがシナリオ通りマスコミに大々的に騒がれ、攻勢に乗る民主は大ピンチへ。

国民はこの詐欺催眠術までも動員しての、汚い政治詐術をとんと感知しない間抜けさか。

- (1)会談後日の小沢記者会見で「首相が180度政策転換に乗る」と言うので否定する理由がなくなったので党へ持ち帰り協議したの趣旨を発言。
- (2)他方会談後日の福田記者会見で「テロ特措法には拘らないという事ですか」の記者問いに福田は明確に「拘ってるんです！」と発言してる。

福田と小沢のいずれかが国民裏面と国民前で「大嘘」を公言してる事は明白でないか！！。

①高位意思=CIA 陰謀基本マニュアル:<敵が何を考え行動するかを判れば対処可能の原理>。

- (1)目的=政敵を脅迫、陰謀の罫誘導で潰す。
- (2)相手の育成経歴、職業歴、思想宗教信条、性格、IQ、健康状態、対人関係、趣味嗜好、所得と財産、職業地位 etc の全部を徹底調査。特に最近の関心対象、言動、行動範囲、特に弱点。
- (3)基本は餌で釣り、罫にはめるの陰謀シナリオを用意する。
- (4)人は常時一定の強い想い、願望の下に行動追及する、その願望を肯定満足させる状況作りが罫=「舞台装置と役者複数」、良い仕事、金銭異性、名誉地位、本人家族の不幸解消等、人は想いに囚われてる者なのです。それを読み解き、陰謀シナリオが用意される。
- (5)相手に口実を設け、罫の舞台に引き込み、相手想いを肯定満足させる状況を作る。
- (6)相手から yes を引き出すのは相手の想い考えを肯定満足させる事が秘訣。これは一般対客セールストークでの常套手段。yes になる会話を選ぶが、疑問をもたれたらばれる。

②小沢は従来より2大政党実現を主張、それは民主党政権、政策実現への強い想いだった。

福田密室会談では例のソフト口調で 180 度政策転換を提示、否定しないのにまず驚いた(反則パンチ)、然るに思えば参院大勝利とは言えど次期衆院選は保守巻き返しは必然、前途は容易でない、しかも民主党は若く甘い。この連立提案を呑めば従来主張政策が確実に実現できるでないか！！、小沢は酩酊して党に持ち帰り協議に望むと自力政権勢いの委員全員から反対声明、後日福田会見では当日内容否定声明、小沢は騙しを悟り鬱状態化<心の整理が必要>。民主党員も小沢経緯真相を知り、急遽代表辞任撤回をさとす事になる。

③この表経緯をマスコミは小沢の保守連携の裏切りと民主党政権担当能力発言を引いて、ここぞと民主党足引きに大煽動、裏経緯を知らないマスコミ丸呑み国民は又かの思いで失望へ。

④ここまでは例の高位意思のシナリオ通り。だが冒頭枠組みの(1)(2)を解析すれば危機は逆に福田側に大逆転、こんな明白な論理経緯を追求しないマスコミ正体も国民は心して知るべし！

⑤民主党は過去にも陰謀被害がある。反軍拡派 2002 年石井紘基議員の右翼暗殺、2006 年永田寿康議員の堀江資金疑惑国会ガセネタ追求失墜、小泉竹中売国路線追及の経済学者、民主党顧問だった上草一秀教授の失墜。秘書等を入れると失態事件が後を絶たないのだ。勿論これだけで民主党が有能清廉潔癖実力完備という保障ではないが参考までに。